

平成28年度事業報告書

I 運営に関する事項

会員数

平成29年3月31日 : 79
【正会員個人】 42 /【特別会員】 31 /【賛助会員】 6

地域子育て支援拠点事業 5ヶ年事業実施内容の振り返り

神奈川県地域子育て支援拠点「かなーちえ」は、平成28年度で、開所から10ヶ年目(運営2期目の5ヶ年目)となりました。

この5ヶ年の事業実施内容を振り返り、区・市と共に、成果と課題等をまとめました。

☞振り返りの内容については、神奈川県役所ホームページで、閲覧することができます。

平成29年4月から5年間の受託法人の選定について

平成29年4月から5年間、神奈川県地域子育て支援拠点「かなーちえ」を運営する法人(受託候補者)の神奈川県の選定公募に、引き続き応募しました。

公募型プロポーザル方式選定に基づき、平成29年4月から5年間の受託法人に選定されました。

☞選定結果内容については、神奈川県役所ホームページで、閲覧することができます。

II 神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえ

平成28年度も、すくすくかめっ子事業・こんにちは赤ちゃん訪問事業・子育て支援者事業・外遊び活動支援事業等、様々な子育て支援事業や、福祉保健センター等各機関と連携し、区内のたくさんの親子と出会うことができました。また、利用者支援事業が機能に加わることで、各機能の強化に繋がりました。

① 目的	市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与する。
② 対象者	・未就学児とその親・祖父母、妊娠期のプレママ・パパ ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設・企業
③ 実施場所	・主たる施設: 神奈川県東神奈川1-29 東部療育ビル3階 ・サテライト施設: 沢渡三ツ沢地域ケアプラザ 羽沢長谷自治会館
④ 実施日時	通年、火曜日～土曜日 240日 (休館日: 日曜日、月曜日、祝日、年末年始、月曜日が祝日の場合は翌日) ・拠点ひろば: 9時半～15時半 ・沢渡・羽沢サテライト: 10時～14時半 ・子育てサポートシステム事務局: 9時～17時 ・利用者支援事業: 9時半～15時半
⑤ 従事者	常勤者7名・非常勤者8名・ひろばスタッフ8名・利用者支援事業スタッフ1名
⑥ 年間登録者数	1614人 (累計 16030人)
⑦ 年間利用者数	37658人 (大人17289人・子ども17628人・支援者2741人) 157人/日 父親の利用:930人 祖父母の利用:290人 プレママ・パパ:312人 きょうだい数:2276組
⑧ 拠点外での参加者数	*⑦の利用者数には含まれない人数 7663人 地域ケアプラザ・地区センター・中学校・プレイパーク・地域グループとの共催事業・出前事業124回

⑨ 1年間の事業報告（機能別）

1) 親子の居場所事業

- ・拠点利用年数が長く、当事者間の支え合いが育まれています。
- ・「お互いさまで迷惑かけ合って育て合おう」の文化を伝え合う工夫と事業を展開しています。
- ・拠点が10年目を迎え、多様な利用者の居場所として、交流・支え合いを生み出す「場の力」が育っていることを感じます。

定例のトークタイム

- * 療育おやこトーク
- * 国際交流・仲間トーク
- * 双子三つ子の子育てトーク
- * アラウンド40の子育てトーク/10代20代の子育てトーク
- * 子育てと仕事(保育園園長)
- * 初めまして赤ちゃんトーク/テーマ別トーク
- * カウンセラーとみんなでトーク・心の整理術
- * 親子ふれあい遊び・赤ちゃん編
- * みんなで遊ぼう(素材遊び・水遊び)
- * 生まれる前から知っておきたい赤ちゃんが泣いて困った時の対処法(プレママ・0歳児親対象)
- * 初めまして赤ちゃんプログラム(初産・生後2～4ヶ月の親対象)

大型イベント

- * リサイクルマーケット
- * かなーちえまつり
- * 親子コンサート

その他

- * 防災関係プログラム

利用者による自主的なトークタイム

- * ランドセルトーク(学齢期トーク)
- * 九州人・関西人・東北人(出身地域別)トーク
- * アラウンド40トーク

2) 子育て相談事業

- ・相談内容に応じて、利用者支援事業・子育てパートナーや専門相談へ繋げました。
- ・関係機関と連携を図り、課題を共有しました。
- ・妊娠期、産後数ヶ月の親を対象とした事業を実施することで、ひろば利用や地域に繋げました。

定例の専門相談

- * 専門相談員による相談(臨床心理士・言語聴覚士)
- * 乳幼児食生活相談(栄養士)

3) 子育て情報の収集と提供事業

- ・区内の子育て情報を収集、整理した「地域別子育て情報カレンダー」冊子を継続して更新・発行、地域の様々な場に配布し、区内全域に子育て情報を届けました。
- ・幅広い情報を、分かりやすく整理・掲示し、個々のニーズに添って提供しました。また、区内で子育て支援に関わる個人・施設への情報提供・発信の場として機能しています。
- ・利用者支援事業と連動し、暮らしに関わる情報がテーマ別に収集され、発信が強化されました。

定例のプログラム

- * 商業地イオンにて情報提供
- * 片倉うさぎ山プレイパークにて情報提供

定期発行

- * かなーちえ通信・ホームページ
- * 区報「子育て掲示板」
- * 地域別子育て情報カレンダー

4) 子育て支援者のネットワーク事業

- ・地域の様々なネットワーク・かめっ子・保育園・幼稚園・施設・機関・グループ・学校等との連携、共催事業等を通して、日常的に顔と顔の見える関係が深まり、地域の課題解決に向けて、施設間の専門性、資源が交換され、新たな取り組みに発展する事例が増えました。
- ・地域課題の解決に向けて、国際交流・療育親子・図書館と読み聞かせグループ・先駆的なことに取り組む団体・民間、テーマ別のネットワーク活動や、複数の子育て当事者グループが地域活動を展開しました。

いろいろな人の知恵とカ…ちえのわタイム

- * おはなし会
- * リラックス音楽タイム
- * 産後ピクスとカラダのお話
- * 地域グループの紹介タイム
- * おもちゃ病院 等

行政・施設・グループ・企業との共催事業等

健康づくり係、保育所子育て支援連絡会
神奈川消防署・出張所、神奈川警察、野毛山動物園
市民病院、図書館、地域作業所
はぐはぐ神奈川、なないろ広場、横浜友の会
地区わ job
神奈川ロータリークラブ、メガロス、JEXER、講談社 他

対象者別

- * 街活HAHAのおしゃべりタイム
- * 孫育て応援講座
- * マタニティヨガ・ソーイング・おはなし会
スクラップブック等、妊娠期対象プログラム
- * 父親と子どものふれあいタイム・ベビーマッサージ

子育ての輪を広げたい…出前かなーちえ

- * 外遊びの出前(反町公園・白幡の森プレイパーク・
きらきらプレイパーク)
- * 外遊び応援隊との共催(西寺尾・三ツ沢・羽沢)
- * 地域ケアプラザ(6館)の共催事業 21回
- * 地区センター(3館)との共催事業 7回

関係機関との会議(定例会議)

拠点会議/拠点施設長会議/市・広報企画審議会
よこはま地域子育て支援拠点ネットワーク会議
子育て支援委員会/こんにちは赤ちゃん訪問事業
意見交流会/児童虐待DV防止連絡会/外遊び活動
支援事業/保育所子育て支援連絡会/かながわ支え
愛プラン策定会議/区制90周年実行委員会/地域
施設間連携会議/図書館・利用者意見交流会
六角橋地域ケアプラザ運営協議会・地域計画会議
東部療育ビル施設長会議

定期開催のネットワーク

- * 療育おやこネットワーク(#ハッシュタグ井どばたカフェ)
- * 図書館と読み聞かせグループのネットワーク(かなぶつく)
- * 国際交流・協力関係グループとのネットワーク
(多文化共生をすすめる会)
- * 共創を目指す繋がり合い(横の糸ネットワーク)

5) 子育て支援に関わる人たちの人材育成・活動支援事業

- ・講演会・ワークショップ・語り合いタイム・学習会等を、年間を通して多様に開催しました。
- ・“子育てを通して、人が支え合う、地域づくりの大切さ”について学び合い、発信する場として機能しています。
- ・年間を通して、学生・地域ボランティアを受け入れ、事業に繋げました。
- ・地区☉job、子育て当事者グループの学習会・交流会等を開催し、各グループをサポート、地域に繋げました。

- * 区民向け子育て講演会 「自然遊びが脳に効く、人に効く～子育ては自然の環境で～」五感教育研究所 高橋良寿先生
- * ネットワーク学習会・交流会 昔遊びをテーマとした交流会 元松見保育園園長 齊藤幸子先生
子育て中の人の交流会 参画はぐくみ工房 竹迫和代氏
外遊びをテーマとした交流会 まちづくりプランナー 矢郷恵子氏
防災をテーマとした交流会「DIG」神奈川消防署
防犯をテーマとした交流会 神奈川警察署
地域の場づくりをテーマとした交流会 みんなの食場 大滝徳子氏
- * 中学校との共催授業(栗田谷中学校・浦島丘中学校)9クラス
- * 神奈川学園高校部「ママカフェ」協力
- * 学生ボランティア ひろば体験(延115人)・実習(延138人)
- * 地域ボランティア ひろばボランティア・何でも応援団(折り紙・指編み・リフレクソロジー・ソーイング)(延202人)
- * 当事者企画 コンサート・ジョギング・なかまトーク・ハンドメイド・音楽ライブ・絵本の読み聞かせ等

6) 子育てサポートシステム神奈川区支部事務局運営事業

- ・増加する利用会員のサポートに対応するために、区・学校の協力を得て、両方・提供会員の拡充に努めました。
- ・親と子のつどいの広場やサテライトで、説明会や利用体験・おためし保育を開催しました。
- ・様々なニーズに添って、きめ細やかにコーディネートを行いました。

会員数

- * 利用会員 812人
- * 両方会員 91人
- * 提供会員 139人
- * 合計 1042人

- * 入会説明会 参加人数 485人
集団説明会(かなーちえ) 26回
出張説明会 11回
個別説明会 89回
- * 援助実績 5645件
- * 研修会2回・交流会2回・ミニ交流会3回

7) 利用者支援事業

- ・子ども子育て支援新制度に基づき、平成28年1月から横浜市18区の地域子育て支援拠点における利用者支援事業がスタートしました。研修を受けた専任スタッフ「横浜子育てパートナー」が担当しています。
- ・①個別支援、②地域連携を2本柱に、子育て家庭の包括的支援を目指します。
- ・子育て情報ファイル(80項目)配布先:区内187ヶ所

- *利用者にとって身近な拠点において、個別のニーズに添った、相談、情報提供、支援の仲介等を行いました。「あなたの知りたいをしっかりとつなげる」を掲げ、拠点利用者にとっても“情報”という切り口で相談窓口を広げ、新たな相談に繋がりました。
- *主に区内の子育て支援の場で、情報がワンストップで提供されることを目的として、「子育て情報ファイル」を作成。顔の見える関係を構築するため、各場所へ手配りで配布しました。
- *区の仲介から各種会議に出席、事業の周知を図ると共に、拠点のネットワークを基盤として、地域と専任スタッフ「横浜子育てパートナー」との顔の見える関係の構築に取り組みました。
- *専任スタッフが区内のひろばを定期的に訪問しました。(年間22回) スタッフや支え手との意見交換や、拠点に来所しない親子との対話や相談から、地域ごとのニーズを探り、対応に努めました。
- *地域課題からネットワークの輪を深める方向性を模索しました。課題に対して、地域ケアプラザ、地区センター、保育・教育コンシェルジュ等と事業を共催しました。(保育・教育コンシェルジュ説明会を区内各所で開催、地域ケアプラザと子育てと介護を行う「ダブルケア」をテーマとした共催事業等)
- *心・カラダほぐしほっと気功、シングル親&ステップファミリートーク、マザーズハローワーク出張トークを実施しました。

Ⅲ すくすくかめっ子事業

- ・各地域の状況に合わせ、会場の新設や継続するための相談に応じました。
- ・TBS、読売新聞の取材に同伴し、事業の詳細を伝えました。
- ・支え手を対象とした、交流会(全体・地域別)、研修会を開催しました。また、その様子をまとめた季刊紙を発行、配布しました。

① 目的	すくすく子がめ隊の支え手や利用者のニーズを把握し、今後の事業の方向性について検討し、円滑な事業運営に活用する。 すくすく子がめ隊と地域の子育て支援に関わる個人・グループ・施設とのネットワークづくりを行う。
② 対象者	・すくすく子がめ隊の支え手 ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設・保育園
③ 実施場所	・交流会・研修会: 神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ ・方面別交流会: 地域ケアプラザ(菅田・神之木)、地区センター(神大寺)、神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ
④ 実施内容	<p><方面別交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月「ご近所で語り合おう!長く続いているかめっ子の魅力」 まちづくりプランナー 矢郷恵子氏 ・参加者 105人/かめっ子24地区、地域ケアプラザ、地域振興課、社会福祉協議会、子育て支援者、保育園、親と子のつどいの広場、ひだまり、らびー、外遊び応援隊 <p><全体交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月「支え手として還ってきてくれた子育て世代の声を聴き語り合う」 まちづくりプランナー 矢郷恵子氏 ・参加者 50人/かめっ子21地区 <p><全体研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月「地域に種まく人になる これまでの子育て支援 これからの子育て支援」 関東学院大学 土谷みち子先生 ・参加者 56人/かめっ子25地区 <p><季刊紙発行></p> <p>4回発行</p> <p><訪問></p> <p>片倉台団地・神大寺西町</p> <p><新設></p> <p>松本町・沢渡</p>
⑤ 従事者	常勤者7名・非常勤者3名

IV 親と子のつどいの広場事業（しゅーくるーむ）

① 目的	親子が気軽に集い、交流できる居場所を、身近な地域で利用できるよう取り組む。 テーマ「みんなで育ててみんなで育つ」
② 対象者	・未就学児とその親 ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設
③ 実施場所	神奈川県菅田町 2299-1 ライフネットスポーツクラブ内クラブハウス
④ 実施日時	通年、火・木・金曜日 130日 (休館日：祝日、夏期、年末年始、第2木曜日) ・10時～15時
⑤ 従事者	常勤者10名・非常勤者3名
⑥ 年間登録者数	89人
⑦ 年間利用者数	2682人(大人1167人・子ども1515人) 20.6人/日

⑧ 1年間の事業報告（機能別）

1) 子育て親子の交流、つどいの場の提供

- ・利用者同士を繋ぐ「パイプ役」を、スタッフだけでなく利用者自身が一緒に担うようになったことで、利用者が積極的に広場に関わるようになり、場が育っていると感じました。
- ・午前中だけ広場で過ごす…等、利用者のライフスタイルの中に、広場で過ごす時間が定着してきているように感じています。
- ・月1回の赤ちゃんデー（ベビーマッサージ）や区からの情報（赤ちゃん訪問等）がきっかけで、0歳児の新規利用者が増えました。同じ時間を一緒に過ごすことで、互いの悩みや不安を相談し合う関係を築いています。
- ・利用者一人ひとりに合った関わり方（話を聞いてもらいたい・ゆっくり本を読みたい・情報を知りたい等）をスタッフが心がけ、工夫することで、居心地の良い雰囲気づくりに努めました。

2) 子育てに関する相談、援助の実施

- ・スタッフは利用者の話にしっかりと耳を傾け、相談内容によっては区で行われている相談日や、各機関・保育所等の情報を伝え、利用者自身が選択できるような援助を行いました。
- ・様々な事例に関しては、スタッフ間で共有し、互いの意見を交換し、しっかりと話し合うことで、一人ひとりが様々な状況に対応できるようなスキルを付けることに繋がりました。
- ・隔月1回、利用者支援事業・横浜子育てパートナーが来室（相談や情報発信）
- ・利用者の不安や悩みを共有するトークタイムを設け、情報交換や気持ちの共有ができる場を提供しました。

3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・地域や施設、地域子育て支援拠点と連携し、情報収集に努め、整理し、利用者が手に取りやすいように、掲示したり、各々のニーズに応じて、スタッフから手渡しました。

4) 子育て及び子育て支援に関する講習の実施

定例プログラム 月1回

- * 遊ぼうデー
- * 赤ちゃんデー
- * 誕生日会
- * しゃべりタイム

その他プログラム

- * リサイクルマーケット 2回
- * 当事者企画 1回
- * 講演会 1回(さとうあけみ氏)
- * クッキング講座(うさぎ庵)
- * 歯科衛生士による歯磨き指導
- * 消防士による救命救急法・AED講座
- * 共催事業「かなちく子育て応援タイム」

5) 地域の子育て関係者、関係機関・団体や行政機関等との連携

- * 菅田地区・子育て支援連絡会
- * すくすくかめっ子事業・方面別交流会
- * 利用者支援事業・横浜子育てパートナー出張相談
- * 保育・教育コンシェルジュ
- * 通信の配布、「地域の輪」コーナーにて、地域の子育て関連施設を特集

V 親と子のつどいの広場事業（ほしのひろば）

① 目的	親子が気軽に集い、交流できる居場所を、身近な地域で利用できるよう取り組む。 テーマ「つどう つながる」 ～ねんね、はいはい、よちよちのお子さんとパパ・ママたちがほっとできる居場所になりますように～
② 対象者	・未就学児とその親 ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設
③ 実施場所	神奈川県星野町10 ヒストリア海舟 202
④ 実施日時	・通年、月曜日～金曜日 220日 (休館日：祝日、夏期、年末年始、第3金曜日) ・10時～15時
⑤ 従事者	常勤者7名、非常勤者1名
⑥ 年間登録者数	105人
⑦ 年間利用者数	3255人(大人1526人・子ども1729人) 14.8人/日

⑧ 1年間の事業報告（機能別）

1) 子育て親子の交流、つどいの場の提供

- ・例年は、育休中の親子の利用が中心でしたが、今年度はそれ以外の利用者も増え、利用期間が長くなりました。
- ・プログラムのない日・時間帯にも多くの親子が来てくれるようになりました。
- ・利用者からの提案で、新たに「ねんねアート」を始めました。毎月、スタッフと利用者が相談しながらテーマを決め、準備をすることで、初めて顔を合わせた人同士が交流するきっかけにもなりました。
- ・3月には、利用者の意見を書いてもらう掲示コーナー「みんなの木」を始めました。寄せられた意見を参考にしながら、より良いひろばになるようスタッフで話し合う機会となりました。
- ・長年、地域で親子を見守っている、すすく子がめ隊の支え手・民生委員児童委員と協力して、定期的に利用者親子との交流日を設けました。今後も、地域住民同士の顔の見える関係づくりを続けていきます。

2) 子育てに関する相談、援助の実施

- ・スタッフが、利用者の親子一人ひとりに気を配り、声かけを行うことで、気軽に話のできる雰囲気づくりに努めました。
- ・月1回の歯科衛生士による相談日は、歯の生え始めた乳幼児親子の身近な窓口になりました。
- ・月1回の保育士による相談日には、赤ちゃんとのふれあい遊びや絵本の紹介の時間を設けました。また、保育園栄養士による「離乳食試食会」を開催した際には、利用者同士が月齢ごとの悩みを知る機会となりました。

3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・地域子育て支援拠点と連携し、収集した情報を、手に取ってもらえる場所に配置し、スタッフからも声をかけながら手渡すようにしました。
- ・地域のスーパーマーケットの掲示板に、子育て支援用のスペースを作り、地域居住者へも必要な情報が届くようにしました。
- ・YMCA 東かながわ保育園の園庭開放日やバザー等、地域住民が参加できる情報を提供しました。

4) 子育て及び子育て支援に関する講習の実施

定例プログラム 月1回

- | | |
|------------|------------|
| * 歯科相談日 | * アロマ |
| * ベビーマッサージ | * えいごあそび |
| * 音楽ひろば | * ピラティス、ヨガ |

その他プログラム

- * おゆずり交換会(年2回)
- * ようちえん座談会(年1回)

5) 地域の子育て関係者、関係機関・団体や行政機関等との連携

- * コットンハーバー地区すすく子がめ隊主催 「ミニミニ運動会」
- * コットンハーバー自治会・マリナゲート自治会主催 「コットン祭り」
- * YMCA東かながわ保育園協力 広場での相談日(月1回)
- * 利用者支援事業・横浜子育てパートナー出張相談
- * 地域連携ミーティング(年4回)
- * マザーズハローワーク出張相談窓口(年2回)